

| | | | | | | | | |
|--------|-----------------------------|--|-------|-------|--------------------------------|------|------|----------|
| 事務事業名 | 雲南広域連合参画事業 | 所属部 | 政策企画部 | 所属課 | 政策推進課 | | | |
| 総合計画体系 | 政策名 | 〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉 | 所属G | 政策推進G | 課長名 鳥谷 健二 | | | |
| | 施策名 | 〈05〉時代に合った行政サービスの実現 | 担当者名 | 山本 亮 | 電話番号 0854-40-1011 (内線) 2332 | | | |
| | 目的対象 | A)市民 B)行政機能 意図 公平で効率的なサービスを受ける(提供する)。 | 予算科目 | 会計 | 款 | 大事業 | 大事業名 | 企画総務管理事業 |
| | 基本事業 | 〈014〉民間活力の導入と広域行政の推進 | | 0:1 | 1:0 | 0:1 | 中事業 | 中事業名 |
| 目的対象 | 行政機能 意図 効果的な行政サービスを提供する。 | 0:5 | 3:5 | 3:3 | 中事業 | 中事業名 | | |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

| | |
|--|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか) | ② 意図(対象がどのような状態になるのか) |
| 雲南広域連合(雲南圏域1市2町) | 行政サービスの効率化を進め、行政コストを削減する。 |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述) | |
| 事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) | 雲南広域連合が実施する一般会計総務費事業(一般管理費、企画費等)に関する負担金。主な業務の内容は次の通り。 ① 企画事業等の協議・支援・協力 ② 企画調整会議(担当課長会議)での事業及び連合会議案の検討 ③ 連合会議(正副連合長)への出席 など |
| ④ 主な活動 | ⑤ これまでの改革・改善経緯 |
| R4年度実績(R4年度に行った主な活動) 各種会議の参加、負担金の支払い | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) ・雲南広域連合の組織・業務再編 H23～雲南消防組合、雲南環境衛生組合と再編統合。 H24～下水道業務を追加。 R5～ふるさと市町村圏基金返還に伴う広域観光事業の廃止。 |

(2) 事務事業の指標

| 成果指標 | 単位 | R2年度(実績) | R3年度(実績) | R4年度(実績) | R5年度(計画) |
|-----------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 雲南広域連合で広域的に行っている事業数 | 事業 | 5 | 5 | 5 | 4 |
| イ | | | | | |
| ウ | | | | | |
| エ | | | | | |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R4年度決算) | | ② コストの推移 | | | | |
|-------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 項目 | 金額 | 単位 | R2年度(決算) | R3年度(決算) | R4年度(決算) | R5年度(計画) |
| 負担金 | 53,652千円 | | | | | |
| (内訳) | | 財源内訳 | | | | |
| 人件費 | 25,163千円 | 国庫支出金 | 千円 | | | |
| 物件費 | 12,777千円 | 県支出金 | 千円 | | | |
| 維持補修費 | 102千円 | 地方債 | 千円 | | | |
| 扶助費 | 79千円 | その他 | 千円 | | | |
| 補助費 | 11,142千円 | 一般財源 | 千円 | 51,652 | 55,800 | 53,652 |
| 投資的経費 | 949千円 | 事業費計 | 千円 | 51,652 | 55,800 | 53,652 |
| 償還金 | 3,440千円 | | | | | 47,316 |

2 事後評価【SEE】

| | |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果 | ・構成市町として企画調整会議及び連合会議等へ参加、協議検討を行い、広域行政の推進に取り組んだ。 |
| ② 事業実施するうえでの課題 | ・地方分権や少子高齢化・過疎化など広域的な行政需要が増大する中、共通課題を持つ近隣自治体等と連携協力により、時代の変化に対応しながら、さらなる行政サービスの効率化と行政コストの削減を図る必要がある。 |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | ・広域的諸課題に対応するため、構成市町が連携し、十分な協議、調査研究を行うことで、時代の変化や地域のニーズに応える簡素で効率的な広域行政を進める。 ・構成市町それぞれに雲南圏域外の自治体などとの連携により広域観光を推進されている状況があり、そのための財源確保が必要とされていることから、「ふるさと基金」を廃止し、構成市町で有効活用を図ることとされた。この基金廃止に伴い、雲南広域連合で行う広域観光事業は廃止となった。 |